

金総書記が死去 正恩氏 権力継承へ

【北京共同】朝鮮中央通信は19日、北朝鮮の最高指導者で国防委員会委員長の金正日総書記キムジョンイルが17日午前8時半、現地指導に向かう列車の中で死去したと報じた。69歳だった。急性心筋梗塞を起こしたとしている。建国からほぼ半世紀、同国を率いた父親の故金日成キムイルソン主

席から権力を継承し、親子2代にわたり統治した。北朝鮮は独自の社会主義体制の支柱を失い、後継者の三男、金正恩氏キムジョンウンを中心とした統治体制確立や核・ミサイル問題の行方が焦点となる。日本など周辺国を含めた東アジア情勢が重大な岐路に立たされるのは必至だ。

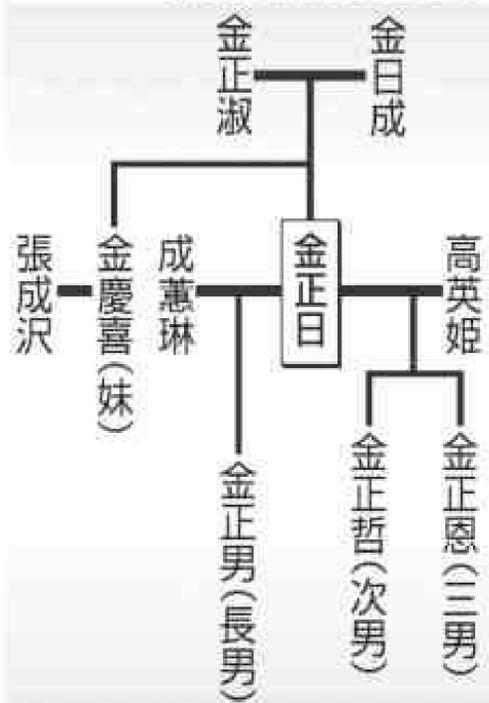
金正恩同志が立っている」と正恩氏の権力継承を示唆した。



2002年4月、朝鮮人民軍創建70周年の記念行事で拍手する金正日総書記。平壤市内

金正日総書記の主な家系図

(敬称略。故人を含む)



金正恩氏

朝鮮中央テレビのアナウンサーは訃告を読み上げ「今日わが革命の陣頭

に就任。94年7月の金正日死去後、3年間の服喪期間を経て97年10月に党総書記となり、98年9月、新たに「国家の最高職責」とされた国防委員長に選出、名実ともに全権を掌握した。

金正日氏は1942年2月16日、故金主席と故金正淑夫人の長男として生まれ、74年の朝鮮労働党中央委第5期第8回総会で後継者に決まった。